

ニュージーランドからサンタ?

12月21日の終業式の日、音楽朝会で並んでいると、後ろから鈴の音が…！すると、「メリークリスマス！ス！」と言って、荷台に乗せられたサンタが入ってきました。見覚えのあるサンタグラスをかけ、みんなに手をふりながらぼくたちの前に登場しました。みんな大爆笑でした。

サンタたちは、音楽を演奏してくれました。「赤鼻のトナカイ」と「ジングルベル」を歌っていると楽しくなってきました。この夜で、少し気分が落ち着きました。最後の4曲目、「あわてんぼうのサンタクロース」ではノリノリに歌って盛り上がりました。低学年の中には、本当にニュージーランドから来たサンタの音楽隊だと信じている人もいてうれしそうでした。僕たちは一目

見て先生たちだと気づいて、楽しかったです。

みんなが楽しんで笑顔になったクリスマスプレゼントでした。

(上川口小学校 6年 小谷斗蒼・宮地子龍)



高校生津波サミットに参加して

私たち佐賀中防災委員は、高知市で開催された第2回高知県高校生津波サミットに参加しました。その中で佐賀中の防災に関する取組を発表してもらい、普段は交流のない高校生にも伝えることができました。

津波サミットでは、高校生が行っている防災の取組を知ることができました。実際に被災地へ出向いて津波の恐ろしさを学んでおり、私も機会があれば現地に行きたいと思いました。高校生の取組は、私たちの一歩上をいく活動をしていて大変参考になりました。

また、講演では釜石東中1年生のときに、実際に東日本大震災で被害にあわれた柏崎楓さんの話も聞くことができ、あらためて地震・津波の恐ろしさについて学ぶことができました。

地震はいつ起こるか分かりません。だからこそ、みんなが生き延びるためには、訓練もそうですが、地域の皆が普段から協力し合うことが大事だと思います。

今回のサミットに参加して、いろいろな体験や取組を聞くことができ、とても良い経験になりました。

(佐賀中学校 3年 明神 妃音)



自分たちに何ができるか考えたい

大方中にかまどベンチができました。12月の参観日に炊き出し訓練があり、婦人会の方々と一緒に、豚汁とカレーを作りました。私は、配膳係をしてたくさんの人と関わり、初めて会った地域の人と自然に話すこともできました。

黒潮町は南海トラフ地震の「犠牲者ゼロ」をめざしています。私たちは「大方の奇跡」を起こすために中学生として本気で取組むことができる活動にはどんなことがあるか考えています。1学期には、地区ごとに危険な場所や道をマップにまとめたり、地震や津波による被害を少なくするための改善点を話し合いました。私は、災害が起きた時、まずどう行動するべきかを知るための避難訓練の方法を中学生が提案したいと考えています。

今回の炊き出し訓練のように、地域の方と関わり合い、みんなの防災意識を高めていけたら奇跡を起こせるかもしれないと思います。

(大方中学校 1年 面内 虹)

